

## ■ペレットストーブ SS-1 (税込本体価格¥252,000)

### ペレットストーブ SS-1詳細

#### SS-1

〈循環型エネルギーのペレットストーブは  
環境にも人にも優しい暖房器です。〉

SAIKAI SS-1 はアナログ運転・手動着火システム

高い暖房能力で燃費No.1!

機能は必要最低限。便利さは追求しません。

本体  
価格 **24万円(税別)**

※排気管・運送費・工事諸経費は別途

燃料消費量0.5～1.65kg/H  
暖房能力の目安40畳まで



- 鋳鉄製の扉と脚で、重厚感あるデザイン
- 着火が早く、手入れもラクな手動着火式
- 煙管熱交換システムで高い暖房効率
- 小型で、底面・本体外側が熱を持たず、施工も安心
- 操作・メンテナンスDVD付き

#### ストーブ周辺と排気管は防火工事不要。

ストーブは二重構造で外へ熱を出さず、壁を貫通する給排気管も二重給排気管のため、薪ストーブのような防火工事は不要です。

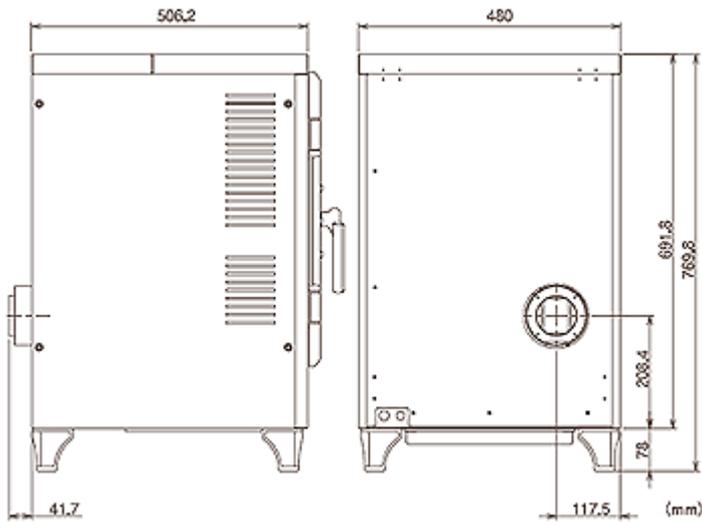
#### 室内外排気管は立ち上げ不要。

強制排気を行うため、室内外での立ち上げは不要です。  
(ただし、近隣している・障害物がある・積雪で排気管をふさぐ可能性があるなど、設置場所、排気管を出す場所によって、室内外で立ち上げることもあります。)

#### ■設置工事について

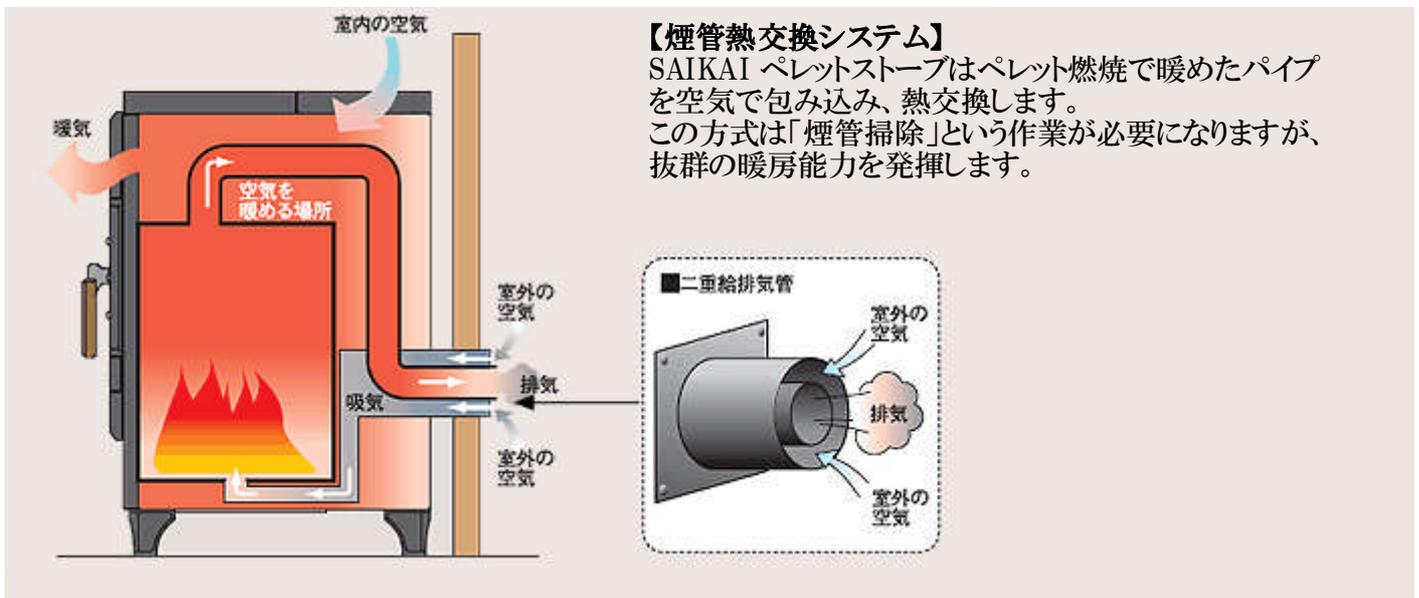
壁面に150Φ程度の穴を開け、燃焼用の給排気を行うFF式2重管を室外へ出す工事が必要です。

## 製品サイズ・オプション



給排気管・オプションリスト	
基本給排気管セット(並行設置)	¥20,000
追加給排気管(コーナー設置)	¥5,600
追加給排気管(立上げ設置)	¥33,400
ステンレス炉台 (灰汚れ防止)(並行設置用)	¥9,000
ステンレス炉台 (灰汚れ防止)(コーナー設置用)	¥11,000
ストーブガート取付タイプ	¥9,000
ストーブガート置きタイプ	¥15,000
給排気管防護ネット	¥9,000
特注カラーリング(受注後1ヶ月)	¥40,000

(価格:税別)



## 製品仕様

SAIKAI SS-1 仕様			
使用燃料	ペレット種類	全木ペレット・ホワイトペレット ※使用ペレットによる設定調整は不要	
サイズ	外形寸法	W 482 x D 534 (排気口除く) x H 770 (mm)	
	重量	約82kg	
構造	給排気方式	強制給排気方式 (FF)	
	構造	燃焼炉・外層 2層構造 (外側は熱くなりません)	
	熱交換方式	煙管熱交換方式 (管内部に燃焼熱を入れ、管の周囲空気を暖める)	
	蓄熱方式	燃焼炉内面に蓄熱レンガを組み込み、高い蓄熱性能	
	前面輻射熱	前面扉は大型の鋳鉄製で、大きな輻射熱を発生	
	タンク容量	約12kg	
暖房能力	暖房目安	最大40畳程度 ※暖房面積は建築条件により変わります	
	燃料消費量	(最小)0.5kg/h ~ (最大)1.65kg/h (無段階調節)	
	暖房能力 (低位発熱量)	最大時	消費カロリー (全木ペレット 3,940kcal/kg) 6,500kcal/h
			燃焼効率 86%
			暖房出力 6.5KW/h
		最小時	消費カロリー (全木ペレット 3,940kcal/kg) 1,970kcal/h
		燃焼効率 84%	
		暖房出力 1.9KW/h	
操作方法	点火方式	手動点火	
	点火方法	1) 主電源(排気・温風ファン)を入れ 2) 着火材に点火し 3) ペレットスイッチを入れ 4) 燃焼スイッチ(給気ファン)を入れる ※点火操作は1~2分程度	
	温度調節	ペレットダイヤルにて、無段階調節	
	風量調節	なし	
電力	電源	AC 100V 50Hz・60Hz	
	消費電力	常時 90W ※停電時は車載バッテリーでの運転可能(DC-ACインバーター必要 150W推奨)	
安全装置	感震装置	手動復帰式 感震装置 (東京消防庁認証)	
	異常検知	過熱センサー (異常加熱時に停止・アラームブザー)	
	過電流	ヒューズ 5A 2本	
	消火後制御	主電源を切った後45分後に排気ファンが停止します (冷却運転)	
メンテナンス	灰除去	灰受皿を 1週間に1回程度 (毎日8時間燃焼)	
	煙管掃除	付属のバネブラシで月1~2回 (15分程度/1回)	
	排気管掃除	シーズン終了後、掃除機でススの吸い取り	
設置	使用配管	二重給排気管 (外形 110Φ・内径 75Φ mm)	
	設置工事	壁面に給排気管を通す穴を開け、壁面金具で給排気管を固定 (立上げ不要)	

## SAIKAI のペレットストーブは シンプルイズ ベストの評価をいただいています。

アナログ運転・手動着火システムだからです。

### なぜ手動着火システムなのか？

#### 自動着火の場合

- 着火時に数百Wの電気を使用
- 着火時にペレットが燃える煙が大量に発生
- 着火失敗する可能性がある
- 着火失敗時はマイコン制御により、再着火作業を繰り返すため、数十分も待つ

#### 手動着火システムなら

- 消費電力が少ない(常時90W程度)
- 煙はほとんど発生しない
- 必ず着火できる(1分以内の着火可能)

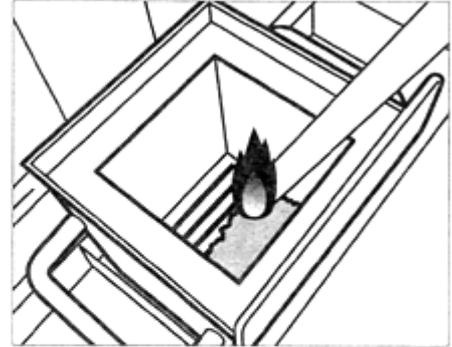
### SAIKAIのペレットストーブは

- 手動着火システムにより、寒いお部屋を素早く暖めます。
- 災害時でも少ない電力で、大きな暖房能力が得られます。  
(避難所にて、50台運転実績)
- アナログ運転により、故障の可能性を極力排除しました。  
複雑なマイコン等の電気回路がない為、マイコン制御による誤作動、故障がありません。

① 電源スイッチを「入」にします。



② 着火材を燃焼ポットに入れ、ライター等で火をつけます。

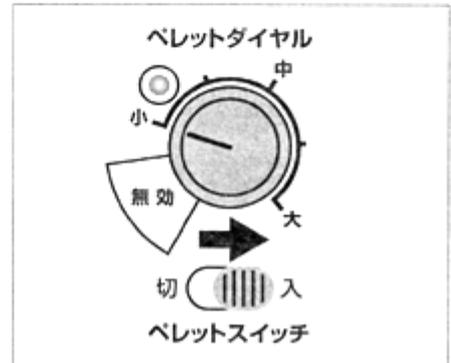


③ ペレットダイヤルが「小」になっていることを確認します。

④ ペレットスイッチを「入」にし、ペレットが投入されるのを確認します。

⑤ ペレットに火が移ったら扉を閉めて、燃焼スイッチを「入」にします。

⑥ ストープ内部が暖まると、自動的に温風が吹き出します。

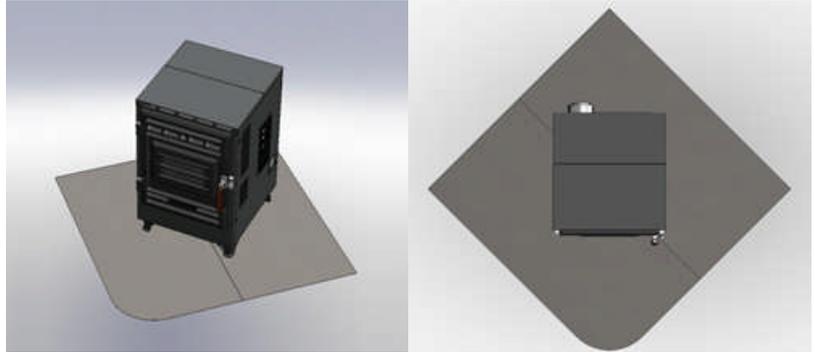


## お客様の声

- 最初は大変かなと思っていましたが、実際やってみるとそれほど難しくなく、今では着火するのが楽しみになりました。
- 自分で着火した火と思うと気になり、よく燃えているかなと時々ながめたりします。火を使っていることを忘れないですね。
- 以前は自動着火のペレットストーブを使用していました。着火時に400W位の電気を使っているにも関わらず、着火するまでかなりの時間がかかったり、着火失敗したり、煙もたくさん出て、ご近所に迷惑をかけていました。手動着火のほうが手間はかかるけど、確実に早く火がつくので、替えてよかったです。

## ペレットストーブ SS-1 オプションリスト

\* 下記オプション イメージ画像です。

<p><b>ステンレス炉台 (並行設置用)</b></p> <p>サイズ 900×900mm 厚み 0.8mm 素材 SUS430 ヘアライン</p> <p><b>9,000円</b></p>	
<p><b>ステンレス炉台 (コーナー設置用)</b></p> <p>サイズ 1100×1100mm 厚み 0.8mm 素材 SUS430 ヘアライン</p> <p><b>11,000円</b></p>	
<p><b>ストーブガード (取付タイプ)</b></p> <p><b>9,000円</b></p>	
<p><b>ストーブガード (置きタイプ)</b></p> <p><b>15,000円</b></p>	
<p><b>排気管保護ネット</b></p> <p>サイズ *壁面接続部分 280×310mm 飛出長さ 300mm</p> <p><b>9,000円</b></p>	

## よくある質問

### Q. ペレットストーブって、どんなストーブですか？

A. 森林内の間伐材や製材工場等から出る端材及び樹皮等を粉砕したオガ粉を円柱形に固めたペレットを燃料とするストーブです。地球温暖化を防止し、環境にやさしいストーブとして、また炎が見えることからインテリアとしても注目されるストーブです。

### Q. 一般の家庭でも使えますか？

A. 一戸建ての住宅の場合、ほぼ設置可能です。  
特有な条件により設置不可能な場合もありますので、設置前には必ず設置場所を拝見させていただきます。

### Q. 煙突は必要ですか？

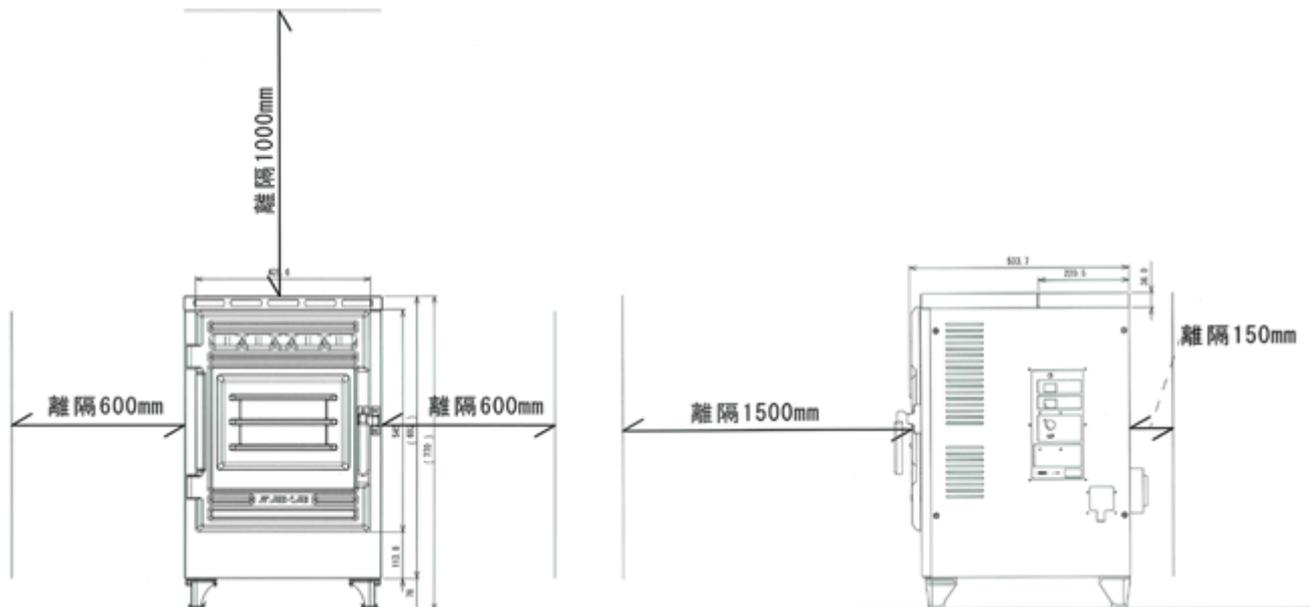
A. FF式ストーブのため、排気筒の設置のみ簡易な工事となります。設置場所によっては排気筒の立ち上げもありますので、お問い合わせください。

### Q. 床や壁面の補強は必要ですか？

A. 基本的には補強する必要はありません。

### Q. ストーブは熱くなりますか？

A. 前面以外は熱くなりにくくなっています。  
設置する場合の離隔は 以下のとおりにスペースを確保してください。



●左右 600mm以上 / ●天板 1000mm以上 / ●前面 1500mm以上 / ●背面150mm以上

#### Q. 煙やおいは出ますか？

A. 煙はほとんど出ません。  
匂いは木材を燃やした時にでる匂いは排気管出口付近では若干あります。  
ただし、排気は室外へ出していますので、室内に煙、匂い、すすが出ることはありません。

#### Q. 燃料費はどのくらいですか？

A. ペレットの消費量は1時間約1kgが目安です。ペレット1袋(10kg)が500円ですので、1日10時間燃焼した場合、1日の燃料費は500円程度といえます。  
ただし、ご使用になるペレットによって火力が若干異なりますので、使用量も変動します。  
また、設置場所や気候、建築条件により変動します。

#### Q. 電気は使いますか？ 消費電力は？

A. 電気は使用します。運転時90Wとなります。

#### Q. 薪や炭などのほかの燃料は燃やせますか？

A. ペレット以外の燃料は燃やせません。

#### Q. 灰はどのくらいですか？

A. ペレットの種類によって違いはありますが、薪ストーブに比べるとはるかに少ない量です。約ペレットの1%程度です。木質燃料から出た灰のため、自宅敷地内の畑等に肥料としてまくことも可能です。

#### Q. メンテナンスはどうなりますか？

A. 日々のメンテナンスについては、着火前に燃焼室内の壁面やガラスに付着する煤、燃焼皿に残った灰の清掃を行います。  
月1~2回程度、熱交換パイプ内のすす除去を行います。  
掃除道具は、ストーブ本体の付属品としてお渡ししています。  
シーズンオフ時には、排気筒内の清掃やストーブ全体の清掃・チェックが必要となります。  
専門家によるメンテナンスをお勧めします。

#### Q. ペレットの種類は？

A. 樹皮を原料として作られたバークペレット、幹部を原料としたホワイトペレットと、樹皮・幹部が混ざった全木ペレットの3種類があります。弊社では、間伐材を再利用したペレット(全木ペレット)を推奨しています。

#### Q. インターネットなどで安価な輸入ペレットが販売されていますが？

A. 遠く海外から運ばれてくるペレット燃料を使うのは、身近な森林からでてくる木質エネルギーを再利用するというペレット燃料の地産地消の目的からはずれています。  
出来るかぎり近くで製造されたペレット燃料を使いたいものです。

#### Q. ペレットの保管方法は？

A. 湿度の高い所や雨にさらされる所、直射日光のあたるところでの保管は避けてください。  
倉庫や物置などが最適ですが、下に台などを置いて直接ペレットの袋が土や床などに接しないようにしてください。  
乾燥、圧縮しているペレットが湿気を含んで、膨れてしまう恐れがあります。

## 故障かな？と思ったら

現象	原因と対策
作動しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。</li> </ul>
ペレットが落ちてこない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(初めて使用する時の場合) ペレット送り部に充てんされるのに、約15分程度かかります。しばらく待ってください。</li> <li>・電源スイッチは入っていますか？ 電源スイッチ、ペレットスイッチを入れてください。</li> <li>・ペレットタンクにペレットは入っていますか？ ペレットを補給してください。</li> <li>・燃料タンクに粉がたまっていますか？ 掃除機等で粉を取り除いてください。</li> <li>・燃料タンクに異物が詰まっていますか？ 異物を取り除いてください。</li> <li>・燃料が切れた後にペレットを補充したばかりですか？ ペレット送り部に充てんするのに、時間がかかります。しばらく待ってください。</li> <li>・感震装置はセットされていますか？ 地震等揺れを感じると感震装置が作動します。揺れがおさまったら、感震装置をセットしてください。初めて使用する場合、出荷時は感震装置がロックされています。ロックを解除してから、セットしてください。</li> </ul>
着火時に煙が充満する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給排気管にエンドキャップが付いていませんか？ 給排気できずに、室内に煙が漏れてしまいます。 エンドキャップを取り外してください。</li> <li>・給排気管が詰まっていますか？ 給排気できずに、室内に煙が漏れてしまいます。 給排気管を掃除してください。</li> <li>・電源スイッチは入っていますか？ 給排気できずに、室内に煙が漏れてしまいます。 電源スイッチを入れてください。</li> <li>・煙管が詰まっていますか？ 排気できずに、室内に煙が漏れてしまいます。 付属の煙管バネブラシで掃除してください。</li> </ul>

現象	原因と対策
ペレットに着火しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃烧ポットが正しく取り付けられていますか？ 燃烧ポットを正しく取り付けてください。</li> <li>・ 燃烧ポットは掃除してありますか？ 灰がたまっていたり、穴が灰でふさがっていると吸気できず着火しません。付着した灰を取り除き、穴が塞がっていないか確認してください。</li> <li>・ 着火材が少なくないですか？ 着火材を増やして、再度着火作業を行ってください。</li> <li>・ 燃烧スイッチを「入」にするのが早すぎではありませんか？ 確実にペレットに着火してから燃烧スイッチを「入」にしてください。</li> <li>・ ペレット燃料が湿気ていませんか？ 湿気ていないペレットを使用してください。</li> <li>・ 電源スイッチは入っていますか？ 排気ファンが回っていないと、空気が流れず着火しません。必ずスイッチを入れてください。</li> </ul>
運転中に消火した	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペレットの投入量が少なすぎませんか？ ペレットによって火力が異なりますので、燃烧状態を確認しながら、ペレットダイヤルを大き目に合わせ、再度着火作業を行ってください。</li> <li>・ ペレットタンクにペレットはありますか？ ペレットを補給してください。</li> <li>・ 燃烧ポットに灰がたまっていますか？ ペレットによって灰が多いものがあります。吸気できずに燃烧しにくく、消火することがあります。灰を取り除いてください。</li> <li>・ 電源はきていますか？ 電源を確認してください。</li> </ul>
過熱防止装置が働いた (警報ブザー・ランプ点灯)	<p>異常燃烧等でストーブ内部が90℃異常になると作動します。 ブザーが鳴り、過熱警告ランプが点灯し、ペレットの供給を停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前方に遮へい物はありませんか？ 遮へい物があると温風の吹き出しを妨げてしまい、本体が熱くなってしまいます。遮へい物を取り除いてください。</li> <li>・ 吸気口金網がホコリで詰まっていますか？ 熱交換できずに本体が熱くなってしまいます、掃除機でホコリを吸い取ってください。</li> <li>・ 給排気管が詰まっている、または閉じていませんか？ 給排気管を確認してください。 過熱防止装置が働くと、ペレット供給が止まり、ストーブ内部が90℃以下になるとブザー停止、過熱警告ランプ消灯、ペレットの投入が開始されます。(自動復旧します。) 必ず原因を解決してから、ご使用ください。</li> </ul> <p>上記項目を確認しても原因がわからない場合は、販売店または弊社へご連絡ください。</p>
燃烧中の炎が上に あがらず左右に暴れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃烧ポットが傾いていませんか？ 消火し、燃烧ポット・炉内がさめてから、燃烧ポットをしっかりと取り付けてください。</li> </ul>

現象	原因と対策
燃焼ポット内のペレットがすぐにいっぱいになる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼ポットが傾いていませんか？ 消火し、燃焼ポット・炉内がさめてから、燃焼ポットをしっかりと取り付けてください。</li> <li>・燃焼スイッチは入っていますか？ 空気不足で不完全燃焼してしまいます。燃焼中は必ず燃焼スイッチをいれてください。</li> <li>・ペレットの投入量が多すぎませんか？ 投入量が多すぎると、不完全燃焼してしまいます。燃焼状態をみながら、調整してください。 *炎の先端が炉内天井に触れる程度が最大火力と考えます。</li> </ul>
煙やにおいがする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めて使用するとき、塗料のやけ、ホコリのやけなどで煙やにおいがする場合があります。しばらく窓を開けて、換気してください。 それ以外で、煙やにおいが発生する場合は販売店へお問い合わせください。</li> <li>・扉はしっかり閉まっていますか？ 燃焼中は、しっかり扉を閉めてください。</li> </ul>
ペレットタンクが結露する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・煙管パイプの掃除はしていますか？ 煙管パイプが詰まってくると、排気できずに火がタンク側に上がってしまいます。月1～2回程煙管を付属のバネブラシで掃除してください。</li> <li>・給排気管が詰まっていますか？ ススまたは異物で詰まってしまうと、火がタンク側に上がってしまいます。給排気管を確認し、掃除してください。</li> </ul>
ペレットタンクから煙が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・煙管パイプの掃除はしていますか？ 煙管パイプが詰まってくると、排気できずに火がタンク側に上がってしまいます。月1～2回程煙管を付属のバネブラシで掃除してください。</li> </ul>
ガラスが真っ黒にすすける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼スイッチは入っていますか？ 空気不足で不完全燃焼してしまいます。燃焼中は必ず燃焼スイッチをいれてください。</li> <li>・ペレットの投入量が多すぎませんか？ 投入量が多すぎると、不完全燃焼してしまいます。燃焼状態をみながら、調整してください。 *炎の先端が炉内天井に触れる程度が最大火力と考えます。</li> <li>・給排気管は詰まっていますか？ 排気ができずに、ガラスが煤けてしまいます。 ススなど掃除してください。鳥などが侵入して給排気管を塞いでしまうこともあります。 取り除いてください。</li> </ul>